

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/>	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
<input type="checkbox"/>	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/>	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	利用者、スタッフで作った手作りの菓子を近所の方におすそ分けしてお礼の気持ちを伝えたいと思います
<input type="checkbox"/>	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組んでいない	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を受ける度に改善すべき所を運営者、管理者、職員で話し合い取り組んでいる	新規採用者が増え介護経験はあってもグループホームは初めてというスタッフも多くまず最初に昨年の外部評価の意義を説明各々が勉強する機会を設けた
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では各々の立場からの意見も飛び交い有意義な時間を作る事が出来ている。各意見をサービス向上に繋げる様にしている	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ケースワーカーや地域包括支援センターを受託した地域社会福祉協議会副会長との交流がある	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度や日常生活自立支援事業の研修に参加し研修内容やパンフレット等必ず他の介護スタッフに説明している	成年後見人制度を活用された方が良いと思われる利用者家族にはパンフレットを渡し説明している 以前入居されてた方の家族が後見人制度を活用競れていた為裁判所からの通知書等直接目にする機会がありスタッフ等も大変勉強になった
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修等は随時スタッフに行く機会を設け知識を身に付ける事で徹底した防止を図るようにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分説明を行い解らない事があれば遠慮なくいつでも質問していただき納得して契約していただくようにしています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の面会簿の横に意見箱を設置している。意見がある場合は入れていただくよう説明している		意見箱は設置しているが、利用者の多くは直接管理者、スタッフに相談される事が多く各居室で落ち着いて遠慮なく話ができるようにしている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等が面会や支払に来られた際近況報告を必ずしています。又行事に参加された時の写真等を見ていただきその時の状況を説明するようにしています。金銭管理は請求書を発送する際に明細書を同封。スタッフの異動、退職も報告しています。		緊急時に関しては夜間でも連絡させていただき事は了承していただいている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の面会簿の横に意見箱を設置している。意見がある場合は入れていただくよう説明している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の朝礼やカンファレンス、、月1回の勉強会等で各個人の意見が出しやすい状況を作り意見交換を行うことでより良い介護ができるようにしている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者や家族の要望が事前にわかれば勤務表作成時に調整している。急な場合でもスタッフの協力ではほぼ対応できている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームとしても馴染みの関係を断ち切らないよう努力しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人の代表及び管理者は職員の募集・採用にあつては性別や年齢を理由に対象者からは排除しないようにしている。又事業所で働く職員についてもその能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。</p>	<p>ハローワークに求人を出す際、性別・年齢等不問にしている。又職員に対しても勤務表作成前に希望休日を出してもらい仕事、プライベートが充実できるよう配慮している。資格取得に関しても多くのスタッフが取得できるよう支援している</p>	
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>スタッフには入居者一人一人の人生暦の把握をするよう伝え日常の勤務の中で人権に対しての考え方を口頭で伝えている。</p>	<p>人権教育・啓発活動に関する研修を受講した人以外には資料配布し熟読することで人権教育に取り組んでいる</p>
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の介護経験や能力に応じて研修に積極的に参加するよう勧めている</p>	<p>研修計画書を作成。県社協主宰の介護実習や新任研修参加を勧めてスタッフの育成に努めている</p>
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の通所介護、介護老人福祉施設、グループホームへ訪問したり相互の草取り、門松作り、おやつを作って持って行ったり等多様な面で交流している</p>	
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>こちらから話しかけ、ねぎらいの言葉や気軽に話ができる雰囲気を作っている</p>	
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>勤務態度を見極め指導していく上でその個人に合った話し方、内容を考え接している</p>	<p>運営者としての資質を高める為、共に成長していく!!ではなく一歩前に行くよう勉強して行きたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様にはご本人の思いや日常生活での不安等をスタッフ全員が昼夜問わず伺い不安解消に努め信頼できるよう努めています	今まで住み慣れた場所から離れて生活していく事は大変な事だと思います。訴えの都度傾聴し本人様が納得し信頼して生活が送れる様支援しています
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	当ホームを見学して頂きその際現在どのような事に困惑されているのか、どういう生活を望まれているのかを伺っています。一度の見学でホームのこ事を知り把握する事は困難と思われる為何度でも納得されるまで見学や相談にきて頂く様勧めしています	入居後も話し合いをする機会を多く持ち家族との信頼関係を築いていくようにしています
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様と家族が必要とされているサービスがどのような事なのか伺いグループホームに入居されることが最良の選択なのか他のサービスが良いかを一緒に考えるようにしています	施設・在宅・密着型サービスの特徴説明して、利用者様、家族がより良いサービスの提供が受けられるよう支援しています
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様、家族様に当ホームの雰囲気や職員の対応などを実際に見ていただいたり共通の趣味等伺い少しでも生活上の不安が解消できるようにしています	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の日課として下膳や台拭き洗濯物畳みから草取り、ティッシュやゴミ箱設置と各個人に合った出来る事をスタッフと一緒にしている	○	一番の高齢者が一度お願いただけで、記憶に止めて毎日三度の食事の度に台拭きをされるようになった。拭き終わった後に達成感のある表情が見られ。幾つになっても役割を持つということは大事な事であると改めて勉強させられました
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	遠方の方には電話をして近況報告しています。面会時に行事に参加された時の状況や各個人の写真を一緒に見ながら説明しています。又急変時や今後の介護方法の見直し等変更がある時も連絡し一緒に良い方法を見出すようにしている	○	
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	それぞれ家族の関係が違う為代表者、管理者、スタッフ全員が理解に努め双方が理解しあえる関係が築けるよう支援しています	○	
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の意欲の低下に繋がらないよう入居時のアセスメントや初期の情報交換時に懇意にされた場所や継続を希望されている事は伺いホームの支援やインフォーマルな支援で可能な場合は継続できるようにしています	○	
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	各々個性を持っていらっしゃるので考え方の違いでトラブルになる事もあります。逆に張り合える仲間がいるから元気に過ごせている事もありスタッフは中立性を保ちながらお互いの訴えをよく聴き話を進めながらお互いが理解しあえるよう努めています	○	
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も本様、ご家族様にはいつでも立ち寄って頂く様お伝えし又ご家族が介護に関して不安をもたれるような事があれば遠慮なく相談していただくよう声かけしている	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様・ご家族からこれまでの生活の送り方や今後の暮らし方の希望を訊ね意向に副った介護ができるよう努めている。利用者様からの聞き取りが困難な場合は家族からの要望や利用者様の表情、動作等を見て意向の把握に努めている	
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメント時に利用者様、ご家族から生活歴、馴染みの暮らし方を伺い在宅時の介護サービスの利用状況等の把握に努めている	
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別介護記録、バイタル表、食事、入浴、排泄表等に記載。本人様の状況が把握できるようにしています	
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	モニタリング後にスタッフ、家族等と担当者会議開催して介護計画の見直しをしています	
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に関わらず入院等による状態変化、機能低下又目標達成等あれば介護計画書を作成しています	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	○	<p>気づきはあっても、記録の書き方が難しいと思っているスタッフが多く最重要課題となっている</p>
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	症状が変わり他科受診の必要性が出てきた場合など主治医や家族に相談し利用者様にとって最善の方法を考えて支援しています		ご家族にとって認知症専門医や精神科受診は心理的な負担がある様子。本人様の症状等理解して頂き最善の方法を得る為に受診が必要である事を説明。納得されて受診できるよう支援しています
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居前からのかかりつけの病院に引き続き受診されている方が殆どである為症状た状態について相談している		利用者様の状態に変化があつた時など近くの施設の看護師に相談し対処法を訊ねたりしている
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者様の入院時には必ずサマリー、個人記録持参し担当医、看護師に情報提供して利用者様が安心して過ごせるよう対処している。又ご家族と一緒に治療内容、入院期間等も主治医やソーシャルワーカーと話し合う機会を作っている		入院時は随時面会を行い洗濯物や必要物品の準備等ホームの方で行っている。面会に行く事で看護師、担当医との情報交換がスムーズに行われ退院後安心して過ごせるようにしている
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居される時に利用者様、ご家族から終末期についての考えをお聞きするようにしている。又全スタッフが利用者様、ご家族の思いを把握することで受診時主治医に思いを伝える事が出来ている		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホーム内でも高齢化が進み家族の方とも終末期の対応については話し合っている。看護師を配置していない為スタッフが介護に対して不安感を持たないように主治医との話し合いの中でホームでできること、できないことを検討！急変時の対応など指示を仰ぎ支援出来るようにしています		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者様、ご家族の方々が安心できるよう介護サマリーを準備している。又補足している部分は直接担当者に会い情報交換しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の暮らしの中での言葉使いには人生の大先輩として敬い十分注意をして言葉かけをするようにしています。記録等の個人情報の取り扱いは記録簿入れに保管し事務所に置くようにして他者の目に触れたり持ち出す事が出来ないように配慮しています	
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	各個人の訴えや希望をゆっくり傾聴できるよう居室や事務所内で何うようにしています。それぞれに持っている能力に合わせた声かけ説明を行うことで納得して生活が送れる様支援しています	
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の希望を最優先して支援出来るようにしていますが、他の事が重なっている時などは説明行い納得して頂いて曜日、時間の変更等行い利用者様との約束事は必ず守るようにしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に応じて昔から行きつけの店があれば入居時の段階で伺い継続して利用できるようにしています。季節に応じた装いが困難な利用者様にはスタッフが声かけして一緒に居室で服を選びその方らしい装いができるよう支援しています	
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時のアセスメントで利用者様の好き嫌いや誕生日に食べたい物を聞き楽しくお祝い出来る様にしています。又利用者様のできる力を活かして台拭きのできる方ティッシュ、ゴミ入れをセットできる方等個々の力に応じて手伝っていただいています。	
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在利用者様の中に喫煙される方はいらっしゃいません。晩酌や飲酒を希望される方は家族、主治医に相談して適量を提供するようにしています	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自力で排泄可能な方が入院を機に紙パンツになっていた為退院後急に紙パンツを取る事に不安を覚えられると思いつ段階的に自立できるよう支援。 紙パンツ→Pトイレ→普通のパンツ→ホームトイレとなる	今後も利用者様の持てる力を引き出せる様無理なく自然に自立へと繋げていけるよう支援していきます
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	当ホームでは男性と女性で一日おきに入浴して頂く様にしていますが、草取りをされた後や失禁等で汚染された時又希望時には柔軟な対応が出来るようにしています	
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各々の生活習慣や過ごし方を尊重して余暇を自由に過ごして頂く様にしています	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昨年末持ちつき大会をホームで開催。つき手、合方、こね方全て利用者様に手伝っていただきました。	日本古来の行事である餅つきを開催。スタッフ全員がここまでできる力が残ってたのかと驚きました。今年も開催する事を楽しみにされてます。
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様、ご家族と入居時に話し合い自己管理されている方、預り金の中から必要時手渡す方とに別れています。近くにスーパーがあり買い物には自由にスタッフ同行で行って頂けます	
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、ドライブ等その日の天候や気温を考慮しながら、利用者様の希望時には外出できるようにしています	
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事に含まれている外出も含めご家族との話し合いで本人様の希望する場所や昔よく行かれてたドライブコース等定期的に外出される方もいらっしゃいます	外出時はいつでも連絡して頂くようにし利用者様と一緒に外出準備をしています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が希望される場合は先にご家族、先方の了解を得て電話を掛けられるよう支援しています		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居時よりご家族にはどなたでも自由に来て頂く様伝えていきます		どなたにでも明るく挨拶をして、気軽に訪問していただけるようにしています
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の安全、安心を考慮してベット柵は設置していますが、それ以外の身体拘束はしていません。スタッフ全員が拘束の意味を熟知できるようパンフレットや研修資料を配布し話し合いをしています		身体拘束についての研修がある時は新しいスタッフを参加させてます
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	当ホームでは日中玄関に鍵をかける事はしていません。無断で外出されようとする利用者様はいらっしゃいますが、ドアにチャイムを取り付け動向が確認できるようにしています。無理に引き止める事はせず外出を希望される方はスタッフが一緒に同行しかす		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入室の際は必ずノックをし了解を得て入室するようにしています。常に利用者様の所在は把握できるようにしています		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様の状態に合わせて自己管理できる方はご家族の了解を得て居室で、管理が必要な方は事務所や危険物品入れ(鍵つき)で保管しています+		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	服薬管理、確認、食事摂取時の見守り等各利用者様の身体状況、精神症状に応じた対応ができるよう事故防止にとりくんでいます		行方不明者等生じた場合を想定して管轄地域の交番、消防署へ利用者様の写真、特徴を明記して提出しています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	転倒等による外傷が生じた場合や熱発時の対応等は症状に応じて処置できるよう訓練している。又救急搬送時の手順についても対応法を掲示している	○	新人スタッフや急変時に居合わせた事のないスタッフもいる為事故発生に備えて迷うことなく対応できるようにしなければならない
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害時の緊急連絡網は作成している。避難訓練も最低年2回は行っている		運営推進会議参加者に地区区長も参加されており緊急時の協力依頼はしている
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	毎朝のバイタル、食事、水分、排泄、顔色等のチェックし異変があれば直ぐにスタッフ全員が対応できるようにしています。夜勤者は代表者、管理者に連絡し緊急を要する状態であれば救急車の要請をするようにしています		夜勤者は一人の為緊急時は代表者や管理者が速やかにホームへ出向くようにしています
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個別の各記録チェック表、摂取状況、バイタルチェック表や顔色等常に観察し異変時は速やかにスタッフに対応できるようにしています。夜間帯は代表者、管理者に連絡し緊急を要する場合には救急車を要請するようにしています		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に貰う処方箋は必ず本人の介護記録に綴じている。薬の変更等があった場合業務日誌に記録しスタッフ全員が用法、用量等把握できるようにしています		服薬管理が必要な方が殆どの為スタッフ全員が責任を持って利用者様の服薬確認、副作用等を把握する事が必要。異常が見られる場合には速やかに主治医に連絡するようにしています
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を毎日確認。便秘症の方に限らず水分表でチェックし水分補給を徹底するようにしている。おやつ等の時間等に集まる時間に軽いストレッチやテレビ体操をスタッフと一緒にしています		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自力で歯磨きできる方は見守り行い介助が必要な方はその方に応じてスポンジブラシ、シリコンブラシを使用しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の献立については近隣の福祉施設栄養士より協力していただいています。利用者様の状態に応じてミキサー食、粥食、トロミ食等工夫しています。水分摂取量を記録表にて毎日チェックしています		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応については対応マニュアルが作成されておりスタッフがいつでも確認できるようにしています。インフルエンザ予防は毎年利用者様スタッフ全員が予防接種を行い予防に努めています		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食べ物の消費期限の確認。まな板を生ものと野菜類と二種類用意し使い分けるようにしています。食器類の完全乾燥等衛生管理をしています。又最近の発生しやすい時季は生ものの提供をできるだけ避けるようにしています		食材の仕入れは新鮮な物を提供できるよう毎日行っています
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームが住宅街の中にあることもあり道路に面した玄関横の花壇には季節の花々を植え周りに溶け込み家庭的な雰囲気となるよう工夫している。玄関はいつでも開放している為どなたでも気軽に出入りできるようになっている。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関から入って直ぐに共用空間があり利用者様、スタッフと一緒に作った作品や利用者様や利用者様の友人が作られた俳画が飾られている。日付が確認できるカレンダーを作成し今日が何日なのか利用者様が自分の目で確認できるようにしている。又玄関外の花壇には季節の花々を植えて温かみが感じられるよう工夫している。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーには畳みを敷き大きなソファ、座椅子を配置している。そこで女性の利用者様はスタッフと一緒に洗濯物を畳んだり相撲の時季には一緒に寛いで相撲観戦をされている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		利用者様とスタッフの体感温度が違う為利用者様の状況に応じた温度調節をするように心がけています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		利用者様がどこに居られるのか把握し遠視観察するようにしています

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

スタッフ全員が運営理念を念頭において利用者様、ご家族と話しのできる機会を多く持ち一緒に日々の暮らしの中で喜怒哀楽を分かち合いながら過ごせるように取り組んでいます。最近白癬菌の重症化した利用者様が入居され、ご家族と一緒に完治を目指して毎日の足浴、薬剤塗布し経過記録、写真撮影をして家族の方と共に一喜一憂してます。何に対しても無理と思う前に最善の方法を全員で見つけるようにしています。結果としてこんな嬉しい事がありました。今年に入り以前入居されていた方が遊びに来られました。状態も変わっていないようで、忘れずに来られた事を大変嬉しく思いその当時を知るスタッフも感激してました。本人様、ご家族様、地域の方々との結びつきを大事に安心して過ごす事ができるよう支援していきます。